

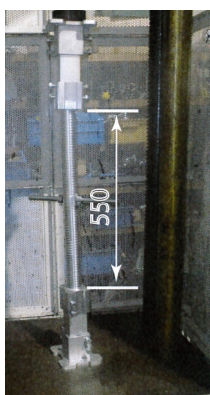
社 報



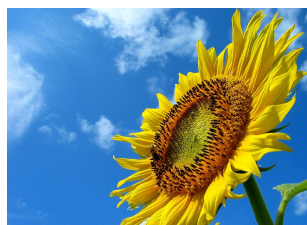
誰も通ったことのない道を行く

アルミ角鋼管支柱

前回の試験で一応の成功を得た「アルミ鋼管支柱」ですが、さらなる改善と強度アップを目指して、アルミのネジ径を大きくしました。価格が高くなってしましますが、安全は必ず確保しなければなりません。



最大荷重=130.3kN(13.3ton)



暑い日が連続。体調管理を万全に！

型枠工事が現状のやり方になってから、ずいぶんと長い年月が過ぎています。ベニア・鋼管・サポート・セパレーター、使う材料は基本的には変わっていません。大きく変わった点と言えば、スラブ型枠にビームやデッキを採用するようになったことでしょうか。それとて、型枠工事の根幹を変えるものではなく、せき板に合板を用い、必要な大きさに切断して使用する方法は、従来から変わりありません。

一方、私達の身の廻りを見れば、当たり前のように見える風景でも、一昔前とは驚きの変化が起きています。テレビは壁に掛けられるほど薄型になりましたし、車はハイブリッド車が出現して驚異的な燃費を達成しています。電話は無線でつながり、誰もが身に付けて持ち歩いています。しかもその、電話で写真やビデオが高画質で撮影できます。まさに、昔、マンガで空想したような話の一部が現実になってしまいました。人類の英知は素晴らしく、文明の発展は急速です。

昔ながらの型枠工事では、生産性や品質の向上にも限界がありません。型枠会社は中小企業が多く、新しい型枠を開発するという大きなプロジェクトに取り組むことができませんでした。

当社はそのカラを打ち破り、新しい試みに挑戦しています。それが当社考案のシステム型枠、「ガッチ」であり、「アルミ角鋼管支柱」です。他にも、いろいろと考案している型枠金物の改善品もありますが、なんとと言っても革命的であるのは、システム型枠「ガッチ」であると確信しています。

コンクリートの寸法に、30mm単位のモジュールを適用して、3次元で型枠を組み立てるという発想です。組み合わせで寸法を決めるので、切った貼った、は必要なくなり、寸法の安定性が向上し、研りが無くなります。出隅・入隅はもちろん、3面役物も用意されているので、誰でも組み立てることができる型枠です。

誰も通ったことのない道を行きます。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

熱中症 発生！

7月28日 プロロジスパーク茨木の工事現場にて、地中梁を解体する作業をしていて気分が悪くなり、休憩室にて休憩するも良くなり、病院へ救急搬送されて熱中症と診断されました。

被災者:鹿島秀雄さん
年齢:32歳

所属:(株)フォービル-デグチ(株)-
原田組
職種:型枠解体工
休業:1日(不休)
最高気温が連日35度以上に達し、直射日光の下、屋外で仕事を行う職人さんは本当に大変です。
今月は事故がありませんように!(拝)

2015年 安全成績

■現場災害 H27.1.1-H27.8.7	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 1
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 1
■交通災害 H27.1.1-H27.8.7	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0